

# 語りませんか？

## 町長と郷土愛ふれあいトークと出前ふれあいトーク

### ●郷土愛・出前 ふれあいトーク開催中！

町民の皆さんと町長との「郷土愛ふれあいトーク」「出前ふれあいトーク」は、町民の皆さんと町長とお気軽にお話しをしていただく場です。

地域の身近な問題やまちの将来についてなど、普段思っていること何でも構いませんので、楽な気持ちでお話してください。

【郷土愛ふれあいトーク】 10月は20日（金）

毎月第3金曜日、午後6時から8時まで

場所：町長室 (1組60分以内×2組)

【出前ふれあいトーク】

希望日の15日前までに、申込書または電話かFAX、メールでお申し込みください。ご希望の日時・場所に町長が出向きます。

【申込書】

総務課広報統計係で用意しています。また、町のホームページからダウンロードすることもできます。※重複をさけるため、電話で予約をしてください。公務の都合上、支障のある場合は調整させていただきます。また、この日に限らず別日程でも可能ですので、ご相談ください。

### ■29年度 開催状況

・郷土愛ふれあいトーク	8月4日	1人
・出前ふれあいトーク		
4月12日…浜町自治会		19人
5月15日…和みの会		14人
7月6日…大岸自治会		21人
8月23日…新山梨自治会		8人



▲新山梨自治会 出前ふれあいトーク

問 総務課 広報統計係

☎ 83-1418 (直通) FAX 83-2129 (代表)

メール kouhou@town.toyoura.hokkaido.jp

## 町長からのそよ風だより 第40回

町長から身近な話題や皆さんへのメッセージを紹介します。

次第に朝晩寒くなり、ストーブの炎が恋しくなる今日この頃、町民の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

9月16日、1年おきに開かれている苫小牧豊浦会総会が、苫小牧グランドホテルニュー王子で開催されました。苫小牧豊浦会は、会員127名で当日約30名が出席され、西川正志会長の挨拶の後、工藤敏和議長の乾杯の挨拶で和やかな歓談に入り、「豊浦町のことがテレビや新聞等で報道されると大変嬉しい」と話され、カラオケの後、記念撮影、又の再会を誓い合い帰ってきました。

さて、小幌洞窟では、毎年9月17日に有珠善光寺さんによる「岩屋観音祭り」が執り行われておりますが、今年、豊浦町として初めて有料化した「岩屋秘境祭り&日本一の秘境駅小幌駅を巡るツアー」が行われ、札幌・函館・室蘭から7名の参加がありました。午前7時50分J R豊浦駅集合で8時18分に出発、列車に乗ると有珠善光寺さんの住職をはじめ檀家さん達と合流、38分に小幌駅に到着しました。参加者7名の内6名は初めて来たとの事で、ホームに降りるなり、山間のトンネルを見たり、空間の空を見上げたり、別世界を肌で感じているようでした。道が滑りやすいことやマムシが出てくること等、注意事項を説明し急斜面を滑るように、まず文太郎浜へ。豊浦町郷土研究会の小西重勝会長から文太郎浜の由来や集落があったことなどを説明しましたが、大げがを2度しても地域のリーダーとして活躍していた文太郎さんに一様に感嘆の声をあげていました。

いよいよ小幌洞窟へ移動です。険しい道なき道の山道を登り下りと600m程繰り返し、ようやく到着しました。海岸に着くと台風18号の影響で、風は強く海は大時化でした。休憩後、江戸時代で美濃出身の僧「円空」が彫った「岩屋観音（首なし観音）」について説明、その後、有珠善光寺さんの門徒さん達と一緒に洞窟での観音祭りに参加してきました。昼食は、庫裡（くり）で赤飯や煮物・漬物等を御馳走になり、体も温まり皆さんも元気を取り戻した様子でした。ほどなく帰りの山道へ。帰り道は、より険しく、ロープを伝っての登りがきついのなんの。それでも全員無事に小幌駅まで辿り着きました。ひと休みした後は、伝説の小幌仙人が住んでいたとされる住居跡を散策しピリカ浜やローソク岩を見下ろせる絶景へ。駅に戻ると「小幌駅」のプレートに旧国鉄時代の帽子をかぶり、顔を出しての記念撮影が大うけでした。

皆さん、小幌地域の歴史・文化を堪能するとともに、文明とは縁のない手つかずの自然を満喫した様子でありました。

今後は、来ていただいた人をどのように他の資源に結び付け、経済の波及効果に繋げるか等の戦略を構築していきたいと考えております。今後とも町民の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

季節柄、寒さも増してきますので、体調に十分気を付けて頂きますようお願い致します。